

# せんなんネットワーク

## 第117号

発行：みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部

### 平成28年度仙南支部交流会を開催しました

平成28年11月8日(火)に仙南支部交流会を開催しました。今年は柴田町を会場とし、「プチ道の駅とみかみ」を視察し、「しばたの郷土館」で交流会を行いました。会員以外にも、地域おこし協力隊や、地域づくりに興味のある方に御参加いただき、参加者数は視察20人、交流会42人となりました。様々な立場の方同士、活発な意見交換が行われ、交流を深めることができました。

#### 柴田町の「プチ道の駅とみかみ」を視察

「プチ道の駅とみかみ」は旧槻木小学校富上分校を活用した農産物直売所で、地域の方々が出資された組合で運営されています。視察では、坂口敏夫組合長から施設の概要などをご説明いただき、農産物出荷の際には皆でお茶を飲みながら交流するなど、直売所としてだけでなく、地域の人々の交流・生きがいの場として、大変親しまれていることなどを教えていただきました。参加者からも「地元にもまだ知らない良いところがある」と知ることができたなどの意見をいただきました。



視察後は、「農村レストラン「縄文の幸」」で昼食をいただきました。縄文の幸は地元の女性の方々が中心となって運営されていて、地元野菜を中心とした郷土料理を提供しています。この日は、菊の花の天ぷら、里いものコロッケ、きのこご飯、金時草で色付けた寒天など盛りだくさんのメニューで、地元ならではの料理に舌鼓を打ちながら、参加者同士楽しく交流することができました。

#### 「地域づくりの未知なる楽しみ方」 講話

午後からは、山形県朝日町にある地域振興サポート会社まよひが企画の佐藤恒平代表をお招きし、「地域づくりの未知なる楽しみ方」をテーマとしてご講演いただきました。佐藤代表は朝日町の地域おこし協力隊として3年間活動された後、現在の会社を立ち上げました。講話では、佐藤代表が考案した町の非公式キャラクター「桃色ウサヒ」の事例などをご紹介いただきました。



桃色ウサヒは町のPRキャラクターでありながら、町の特徴を全く反映していないデザインになっています。しかし、無個性な姿を見た住民たちが「もっとこうした方が良い」と様々な面白い提案をしてくれるようになり、その提案を実現することで町の情報発信や商品開発、さらには地域の自信や誇りを生み出すことへつながりました。この事例から、地域を良くするアイデアは地域の人々の中にあること、

地域の人を主役にしなくても、プロデュースという形で参加してもらい、地域おこしができることなどを教えていただきました。

また、佐藤代表の会社の理念である「非主流地域振興」という考え方についてもお話いただきました。今の主流は、成功事例を再現して目標達成を目指すことですが、非主流とは「独自の道を開拓しながら、主流と同じ目標の達成を目指す」こと。地域づくりは王道でなくてもよく、未開拓の道を探していくことも楽しみ方の1つであると教えていただきました。今後の地域づくり活動のヒントとなる大変貴重な時間となりました。



## 「センナン・ザ・ドリームマッチ」 情報交換会

講話後、「センナン・ザ・ドリームマッチ」と題して、参加者がグループに分かれて情報交換を行いました。今回は佐藤代表に全体の進行を務めていただき、各グループが本日限りの「夢のお悩み解決NPO」となって、地域づくり団体によく見られる悩みや課題の解決策を考えました。



1つ目の課題は「集会に決まったメンバーしか来てくれない」。この課題には、「集会にお楽しみ要素を追加してはどうか?」といった意見が多数派でしたが、「他の団体と合同集会を開き、仲間意識を持たせてはどうか?」「いっそのこと、来ない人の家で集会をしてはどうか?」など、個性豊かな意見も光りました。

2つ目の課題は「会員の方向性が違ってきた」。この課題には、「団体の目的を確認し話し合う」「分野別に活動する」という意見が多数で、「団体の周辺にいる人に話を聞く」「旅行に行き、腹を割って話す」などの意見もあり、多くの道が示されました。

参加者からは、「皆同じ悩みがあると分かった」「自分1人では考えつかないようなことが多かった」「交流を深めるきっかけになった」などの意見をいただきました。

## 参加者からの感想コーナー

私達は、ややもすると自分の置かれている場所や時代を過小評価したくなる傾向にあります。もっと良い場所があるのではないかと、もっと良い時代に生まれた方が良かったのではないかと。なかなか自分の中からそれを突き崩す事は容易ではありません。その時、外から強い刺激が有って自分の居る場所や時代を正確に評価出来るようになると思います。仙南支部交流会は、正にそのような会合でした。仙南地域の人たちが外からの刺激ー地域おこし協力隊ーにより強く自分のいる場所のアイデンティティーを確認し合った集まりだったと感じました。無い物ねだりではなく、在るものの価値を再認識する所から地域づくりが始まると思いました。今後ともお互いに刺激し合って豊かな楽しい仙南地域の交流を継続して行きたいです。(NPO法人川崎町の資源を活かす会(仙南支部副支部長) 菊地 重雄さん)

午前中に廃校を利用した道の駅の視察、昼に「農村レストラン縄文の幸」で昼食をとり、午後から講話と情報交換が行われた。最後に個人で名刺交換を行って団体協議会は終了した。感想として、協力隊以外の人(NPO法人・議会議員)と交流が出来て色々な意見を聞くことができた。今後もこういう交流があれば参加し協力隊の糧としていきたいと思った。(七ヶ宿町地域おこし協力隊 井上 鎮夫・鈴木 淳士)

## 会員の活動紹介

### うた ころも いのり

### つくしの会児童合唱団【大河原町】

野の花は、人知れずとも、美しく逞しく…。私達は、そんな思いを大切に、心の和・歌の輪を追いつけてこの半世紀を歩んできました。子どもの集団であり、団体の経済基盤も弱いことから、対外行事の大半は外部からの呼びかけに頼らざるを得ませんが、特に他県からの招待やロシア・スウェーデンなど外来演奏家との共演は実力を認めて戴いた証であり、町の行事やサービスでのふれあい等も地域とともにある幸せに満たされて感謝です。



平成28年の夏、楽天の試合で元気に国歌斉唱！

可視的要素を持たない歌の美を判断する基準は「心」だけ。従って「音楽やる前に人間やってる」ことを自覚して精進することが、この合唱団の根幹。106号(平成23年12月発行)で御報告した被災者への思いと行動は今も続いています。心から歌を愛し、互いを尊びあい、共に平和なひとときを分かちあいながら、より美しいものを求めて、自ら考え・自ら創造することに嬉々とする子ども達。このような子供達の輪がひろがれば未来は明るい…。生涯子どもらと共に子どもを生きたい私です。

### 24年の歴史をつなぐ 新生劇団「鶴亀」

### 福祉劇団「鶴亀」【柴田町】

私たち劇団員が住む柴田町も高齢化が進み、認知症、寝たきりなどは自分自身にも起こりうる問題だと考えています。そんな中、様々な福祉サービスを多くの方々に知ってもらいたいという思いから、“目で見てわかる福祉”をキャッチフレーズに、「身近なひとに愛の手を」を心掛けながらも「一人でできる事は一人で」という自立心を育てる気持ちで24年間にわたり劇団を続けてきました。



柴田町社会福祉協議会内で行われたサロンコンサートでは、劇団員以外の有志の協力もあり、琴演奏、日本舞踊、どじょうすくい、全員での踊りを施設の利用者さんの前で披露しました。

しかし、団員も高齢化となり退団等で少しずつ変化をしてきました。そして平成28年度より新生劇団「鶴亀」として、躍動し始めました。初心にかえり、発声練習や基本の動き、日本の伝統的な音楽を学びつつ新しい劇や舞台活動を計画しています。本年度は2回の公演でしたが、新しい劇や舞台活動を計画し活動の場を広げていき、大事に育てていきたいと考えています。

### プチ・新会員の紹介



よろしくお願ひします！

平成28年8月より、「白石市犬卒都婆地区中山間地域等協議会」さんが新たに会員となりました！直売所を中心として地域振興を図ることを目的に活動されています。詳しい活動について、今後せんなんネットワークでもご紹介してまいります。これからよろしくお願ひいたします！

前回 116 号以降に、仙南地域の「地域おこし協力隊」に新たに着任された方々を紹介します。

## ？地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などに悩む地方自治体が都市住民を受け入れて、農林業の応援や住民の生活支援などの活動を行ってまいりながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。





**鈴木淳士さん**  
林業担当として森林組合で活動し、森林資源の有効活用や林業再生などを学んでいます。



**北浦鑑久さん**  
町の魅力を引き出せるような、フットパスコースの開発に取り組んでいます。



**佐藤祥多さん**  
まちづくり推進センターを拠点に、地域の活動支援などを行っています。



**百岳研一郎さん**  
西根地区の情報発信や新たな地域資源の発掘など、地域振興の活動に取り組んでいます。



**阿部倫子さん**  
大内地区で、地域の風習などをまとめた「地域の教科書作り」に取り組んでいます。

地域で頑張る協力隊の皆様の活動についても、今後本紙でご紹介していきたいと思っております！

## お知らせ

### 助成事業に関する情報

○地域づくり団体全国協議会 「地域づくり団体活動支援事業」

申請をご希望の方は、実施の2ヶ月前までに仙南支部事務局までお問い合わせください。

- ・助成対象団体…全国協議会登録団体（前年度助成を受けた団体及び登録後1ヶ月未満の団体を除く）
- ・助成対象事業…自主的・主体的な地域づくりのために講師等を招聘して開催する研修会等の事業
- ・助成対象経費…(1)謝金（限度額10万円）(2)旅費（限度額10万円）※(1)(2)合計で15万円が上限

### 事務局からのお知らせ

○地域域づくりに関するイベントなど、皆さまからいただいた情報を支部ホームページに随時掲載し、チラシ等を大河原合同庁舎内や管内の集客施設等に設置させていただきます。PRしたい情報がありましたら、下記の宛先までお送りください。

○会員の皆様の活動状況等についてお伺いするため、会員訪問を実施しています。訪問の際は、事務局から皆様に連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本紙についての御意見や、当支部への御意見・御要望等がありましたら、こちらまでお寄せください。

《みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部事務局》

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班  
〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町字南 129-1  
電話 0224-53-3199 FAX 0224-53-3076  
e-mail oksinbk@pref.miyagi.jp  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/tiikidukuriindex.html>

